

濱中信久 (1942-1980)

Nobukisa Hamanaka



(雪の残る大蛇尾沢でヨギと)

- 昭和17年 (1942) 滋賀県愛知郡秦川村大字松尾寺 (現 愛荘町松尾寺)、金剛輪寺に生まれる
- 昭和34年 (1959) 滋賀県立彦根東高校卒業後、上京して早稲田大学教育学部英米文学科に進学
- 昭和40年 (1965) 年来私淑してきた熊谷守一に推され画業に入る
- 昭和43年 (1968) 富田房枝と結婚
- 昭和44年 (1969) 東京銀座で初個展、以後、東京・京都で年2回の個展を開催
- 昭和46年 (1971) 嚢胞腎を発病し、静岡県御殿場市より栃木県黒磯市 (現 那須塩原市) に転居
- 昭和52年 (1977) 腎性高血圧のため、脳内出血を発症し、この年より左手の制作となる
- 昭和55年 (1980) 4月30日逝去 (享年38歳)
- 5月に京都「ギャラリー紅」で遺作展が開催される
- 11月に福音館書店より絵本『きつねきいちといたちきよるきよるのおはなし』(富田房枝作・濱中信久絵) が刊行される
- 平成7年 (1995) 秦荘町立ハーティーセンター (現 愛荘町立ハーティーセンター秦荘) ギャラリーで没後15年展が開催される
- 平成13年 (2001) 『はまなかのぶひさ作品集 - 那須野から -』(発行:らむぶ舎) が刊行される
- 「はまなかのぶひさ作品展 - 没後21年遺作展 -」が秦荘町歴史文化資料館 (現 愛荘町立歴史文化博物館) で開催される
- 映像ドキュメント「空を翔ける銀狐」が制作される



《かぶとむし》1979年 油彩・板



《燕子花》1976年 油彩・カンヴァス

展覧会記念行事 ギャラリートーク

- 【開催日】 令和2年5月17日 (日) 13:30 ~ 15:00
- 【演題】 「はまなかのぶひさ - 人と画業 -」
- 【講師】 濱中 房枝 氏 (NPO法人 桜和-OWA 理事長)
- 【場所】 愛荘町立歴史文化博物館 企画展示室
- 【参加費】 無料 (要入館券)
- 【定員】 50名 (要申込)

展覧会カタログ 『はまなかのぶひさ 絵画作品集』

- 250部限定頒布
- 頒布価格 1,000円



はまなかのぶひさ絵画展

— 理智と童心と —

濱中信久没後40年 愛荘町立歴史文化博物館 春季特別展

the way you were

令和2年4.18(土) → 5.31(日) 10:00~17:00 (入館は16:30まで)

画像上:《横川の観音さま》1979年 油彩・板
画像右:《ヨギ・フィン》1976年 油彩・板

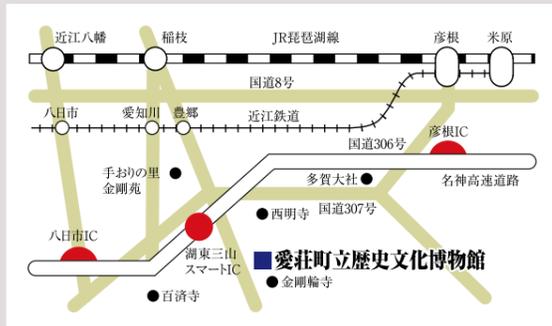
休館日/月・火曜日 (※祝日は開館)、4月30日 (木)、5月7日 (木)
 入館料/一般300円 (250円) 小・中学生150円 (100円)
 無料入館日/5月2日 (土) ~ 6 (水・休) ※ () 内は20名以上の団体料金
 特別協力/NPO法人 桜和-OWA
 後援/朝日新聞大津総局/京都新聞/産経新聞社
 滋賀報知新聞社/中日新聞社
 毎日新聞大津支局/読売新聞大津支局
 NHK 大津放送局 びわ湖放送

愛荘町立歴史文化博物館

(金剛輪寺参道隣)

〒529-1202 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地
 TEL.0749 (37) 4500 FAX.0749 (37) 4520
<https://www.town.aisho.shiga.jp/hakubutsukan/>

アクセス 【電車】JR稲枝駅、近江鉄道愛知川駅・豊郷駅から予約型乗合タクシー「愛のりタクシーあいしょう」
 金剛輪寺停留所下車 (詳細は愛荘町ホームページを参照)
 ※「愛のりタクシーあいしょう」の予約先:近江タクシー(株) 彦根営業所 TEL.0749 (22) 1111
 【自動車】名神「湖東三山スマートIC」より1分



愛荘町立歴史文化博物館

